2013年8月5日 「人間が求めていくべき道」 石川祐司教会長

真のお父様聖和1周年記念式まで、あと19日となりました。この間、さらに多くの祈りを捧げて参りましょう。以下に本日の礼拝の訓読のみ言を掲載いたします。

<訓読のみ言>

『天聖經』

成約人への道 第1章 人生観 5) 真の人間が行く道

①人間が求めていくべき道

本性の心が行く道を行けば、宇宙が一つに広がります。そのような何かがなければなりません。そのような境地に入れば、自分の心と話をするようになるのです。そのような境地では、心と話をするのは、何かをしようと思えば、既に答えが出てくるのです。そのような境地まで進むのです。そのような境地にいる人が、自分の行く道が分からないでしょうか。もう行く道が確実に、宇宙におけるすべての作用の力が助けるのです。手を引っ張って試験場へ入れば、既に、すべてのものが協助するのです。そうしてこそ、大きいことができます。(120-314, 1982.10.20)

偉大な力の背景をもって生きられる人間が、真の人間です。真の人間には、そのように無限の力のバックグラウンド(背景)があって、自分が指向する方向に無限に後押ししてくれるのです。方向が間違えば、すぐに分かるというのです。統一教会は、皆さんがいい加減に知っているような統一教会ではありません。深い背景、偉大な力のバックグラウンドをもっているのです。ですから皆さんが努力をしてこのような境地を連結して上がれば、すべてのものがみな解決されるのです。ですからそのような面で、皆さんが行く方向感覚を決定しなさいというのです。それは、自分がしなければなりません。自分が一番よく知っているのです。

(120-315, 1982.10.20)